

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		市防犯連絡員協議会運営事業		担当課	交通防災課
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち		計画期間	昭和48年度～
	施策	防犯対策の推進		種別	法定＋任意
	基本事業	防犯意識の向上		市民協働	補助事業
予算科目コード		01-020705-03 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
当市における防犯活動の中核である防犯連絡員による防犯活動を実施し、犯罪減少を目指し活動を開始した。	地区ごとの支部（H29.3現在7支部）で地域性や犯罪発生状況を考慮した防犯パトロールを実施し、全体として防犯連絡員主催の街頭啓発キャンペーンを実施している。 【平成28年中実績】 防犯パトロール回数：507回 街頭キャンペーン実施回数：7回
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
防犯連絡員を地域のリーダーとして、地域の防犯対策をけん引する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
犯罪から自らを守る対策の啓発に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
民間企業と連携したキャンペーンを実施し、防犯連絡員を含む市民の防犯意識向上に努めた。また、市民参加型防犯パトロールを実施したことで、一人ひとりの防犯意識の向上につなげることができた。	・市民参加型パトロールの実施地区の拡大と実施回数の増加を図った。 ・松並青葉地区の防犯連絡員拡充を行った。 ・役員会議の際、警察出向職員による詳細かつ最新の防犯情報共有を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
防犯連絡員各支部防犯パトロール実施回数（回）	359.00	468.00	507.00	510.00	600.00
市内における刑法犯認知件数（年間）（件）	729.00	668.00	596.00	570.00	500.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	防犯連絡員の会員数増加，防犯パトロール回数の増加，市民参加型パトロールの拡充等防犯連絡員の活動が拡充し，さらに刑法犯認知件数が平成28年中で596件（前年比-72件）と減少しているため，成果は向上している。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 □維持	□改善・効率化 ■統合 □廃止・終了	・平成29年度に「防犯対策事業」に統合する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	350	350	350	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	350	350	350	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	299.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,226	0	0
トータルコスト		350	350	1,576	0	0